

令和7年度
弘前大学入学式



国立大学法人弘前大学



HIROSAKI
UNIVERSITY

令和7年度

弘前大学入学式次第

日 時 令和7年4月4日(金)

第1部 12:30～

(人文社会科学部・教育学部・農学生命科学部)

第2部 14:30～

(医学部・理工学部)

会 場 弘前市民会館

- 一、開 式 の 辞
- 一、来 賓 紹 介
- 一、役員及び部局長紹介
- 一、入 学 許 可
- 一、学 長 告 辞
- 一、来 賓 祝 辞
- 一、学 生 宣 誓
- 一、閉 式 の 辞



入学生への メッセージ

弘前大学長

福田 眞 作

新入生の皆さん、そしてこれまで陰ながら支え、励ましてこられたご家族や関係者の皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。ご入学、誠におめでとうございます。

本日より、皆さんは弘前大学の一員として、新たな学びの道を歩み始めます。皆さんの夢を実現できるよう、教職員一同、全力を尽くして支援してまいります。

大学生活を実り多きものとするためには、主体的に学びを深めるとともに、学内外の多様な活動に積極的に参画することがとても重要です。部活動やサークル、アルバイト、ボランティア活動、さらには国内外への留学など、自らの可能性を広げる機会を大切に、多くの経験を積んでください。

弘前市は、悠久の歴史と豊かな文化を誇る城下町であり、また、学問の府としても発展を遂げてまいりました。本学を含む5つの高等教育機関が集うこの地には、学びに適した環境が整い、学生の皆さんの成長を支える風土が根付いています。さらに、この地は四季折々に自然美に彩られ、全国的に名高い祭りが開催されるなど、文化的にも豊かな魅力を有しています。ぜひ、この地に息づく伝統や文化に触れながら、充実した学生生活を送られることを願っております。



人文社会科学部長 飯島 裕胤

入学おめでとうございます。大学は「学びのきっかけ」が広がります。とくに人文社会科学部の学びは、単一の専門だけでなく、多様な学問分野から構成されています。また本学では、2年次から大学外で学ぶ実習や、実社会のエキスパートによる講義科目なども数多く受講できます。「きっかけ」が豊富な大学です。この弘前の地で、自ら学問の扉を開きましょう。



教育学部長 高瀬 雅弘

社会のなかのありとあらゆるものが消費の対象となる現代社会においては、大学教育もまたそのひとつであるといえます。だからこそ、消費者としてそれをとことん使い倒したうえで、その先に新たな知を創造する生産者になることを目指してください。皆さんが学生生活を通じてそれぞれの実りを生み出すことを期待し、そのスタートとなるこの日を心よりお祝い申し上げます。



医学部長 石橋 恭之

ご入学おめでとうございます。1944年に青森医専として開校した医学部は、東北で二番目に古い伝統ある学部です。また本学はJ-PEAKSに採択された研究大学の一つです。四季折々の豊かな自然溢れるこの弘前の地で、皆さんの新しい生活が始まります。大学生として様々なものにチャレンジし、理想の医療人となるべく人間力を磨いてください。心より期待しています。



理工学部長 金本俊幾

ご入学おめでとうございます。理工学の世界へようこそ。時には迷うこともあるかもしれませんが、周りの助言を大切に、皆さんの想像力で新しい道を切り拓いていきましょう。その過程で得る知識や経験は貴重な財産となり、未来の科学者や技術者として素晴らしい成果を上げていけるはずです。力強く前進し、夢を追い続けてください。応援しています。



農学生命科学部長 東 信行

入学おめでとうございます。いま皆さんは大きく飛躍するチャンスを迎えています。大学は思い切りいろいろなことができる場です。失敗しても良いんです。臆することなく自分の限界に挑戦する大学時代にしてください。皆さんが元気な時もそうではないときにも全力でサポートします。

弘前大学学生歌

井上 豊 作詞
前田 卓央 作曲

一、道遠く 極まるところ

雪とけて 霞む山なみ

花ひらく 古城のさくら

緑こき 津軽のひろ野

行く水も 音さわやかに

若人の 心ぞ清き

こぞりたたえん 青春の日を

こぞりたたえん 青春の日を

二、星光り 月明らかに

秋たけて もみじ血にもゆ

学びやも 雪に埋れ

おのがじし 思いは深く

世のうつつ きびしけれども

若人の 望みは高し

ともにうたわん 弘大の意気

ともにうたわん 弘大の意気

【弘前大学の四季】



【弘前大学徽章について】



青森県の津軽地方を支配した大名「津軽氏」は、家紋として「津軽牡丹」を用いていました。その弘前城下にある弘前大学の徽章は、「牡丹」の花をモチーフとしております。